

Hello

小学校・義務教育学校でプログラミング教育がはじまります

今日、様々な仕事をはじめ、学校での学習や家庭生活など、あらゆる活動にコンピュータが使われ、そこからたらされる情報を適切に選んだり、活用したりして問題を解決していくことが不可欠な社会となっています。このような社会を生き抜くには、児童がコンピュータの仕組みを理解し、効果的に活用していく力を身に付けることが極めて重要となります。こうした社会的背景を受け、小学校・義務教育学校前期課程段階から導入されることとなりました。

なぜ導入するのか

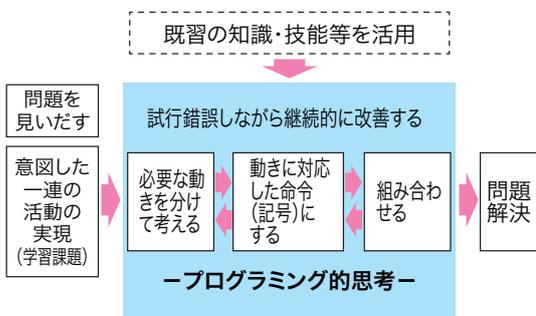
令和2年4月から、小学校・義務教育学校前期課程において、プログラミング教育が全面实施されます。なぜ導入されるのか、どのような力を育むのかを含め、品川区の取組をご紹介します。



コミュニケーションロボット「Sota」

どんな力を育むのか

小学校・義務教育学校前期課程におけるプログラミング教育では、①「プログラミング的思考の育成」、②「プログラムの働きやよさへの気付き」や「コンピュータ等を活用し問題を解決しようとする態度等の育成」、③「各教科の確実な学び」が目標となっています。



＜プログラミング的思考の育成＞

特に、①の目標は中核とされ、コンピュータ等を用いながら、自分が意図した活動を実現するために、動きをどのような順序で組み合わせるかなど、試行錯誤しながら論理的に考えることで育まれるとされています。

品川区の取組

区教育委員会では、今年度、NTT東日本と連携し、コミュニケーションロボット「Sota」を用いたプログラミング教育の学習プログラムを開発し、小学校2校でモデル実施しました。学習の中で、児童は自分の意図が動きに表れるよう、何度もプログラミングし直す姿が見られました。また、最先端のロボットを使用することで、情報社会への興味・関心を高めました。

今年度の取組を生かし、市民科や各教科の学習と関連を図りながら、各学校が特色あるプログラミング教育を展開できるよう支援していきます。



5年生の市民科で「Sota」を活用した授業風景（三木小学校）

パラリンピック競技大会が開催されます!!

オリンピック・パラリンピック教育 学校連携観戦プログラム

全区立学校・幼稚園では、平成28年度から区独自教材「よい、ドン！しながわ」の活用や、区内開催・応援3競技であるホッケー、ビーチバレーボール、5人制サッカー（ブライントサッカー）の体験教室の実施、また、世界ともだちプロジェクトの充実等により、オリンピック・パラリンピック教育を推進し、幼児・児童・生徒に「おもてなしの心」、「障害者理解」、「国際的な視野」などの資質を育んできました。

そして、7月から開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を迎えるにあたって、全区立学校・幼稚園では、学校連携観戦プログラムに参加します。

学校連携観戦プログラムは、東京都オリンピック・パラリンピック教育の集大成として、都内の子どもたちが本大会の競技を学校単位で直接観戦する機会を提供するものです。本区では、

区内開催・応援3競技を含めた、オリンピック・パラリンピック競技を全ての子どもたちが観戦する予定です。

各校・園では、観戦する競技や競技に出場する国について、幼児・児童・生徒が理解を深め、興味・関心をもって観戦に臨めるよう、オリンピック・パラリンピック教育をさらに推進させ、本大会に向けた機運を醸成するとともに、大会後にはその後の人生の糧となるようなかけがえないレガシーを子どもたちの心と体に残していけるように準備しています。



「夢・未来プロジェクト」で元ホッケー日本代表 藤尾香織さんとのホッケー体験の様子（八潮わかば幼稚園）

品川区の結果概要

令和元年度 東京都統一体力テスト調査結果について

新体力テスト 体力合計点平均値

東京都統一体力テスト調査結果から

(点)

	男子			女子			
	平成27年度品川区平均	令和元年度品川区平均	令和元年度東京都平均	平成27年度品川区平均	令和元年度品川区平均	令和元年度東京都平均	
1年	29.7	29.6	29.4	1年	29.1	29.8	29.3
2年	37.0	37.5	37.0	2年	36.9	37.5	37.2
3年	43.8	44.2	43.2	3年	44.0	45.2	43.6
4年	49.9	49.5	48.9	4年	50.6	51.1	50.0
5年	54.9	55.7	54.2	5年	56.1	56.4	55.9
6年	60.6	60.5	59.6	6年	60.6	61.7	61.1
7年	31.7	33.8	32.7	7年	41.9	44.6	44.2
8年	40.4	40.8	40.9	8年	46.3	50.3	49.6
9年	47.2	48.6	47.8	9年	49.0	52.8	51.7

児童・生徒の体力合計点平均値は、東京都の平均値をほとんどの学年で上回っています。

平成27年度の品川区の平均値と今年度を比較しても、同様に記録が伸びてきています。

その要因としては、小学校・義務教育学校前期課程では、全校にテクニカルアドバイザーが配置されたことにより、新体力テストの測定方法の徹底や、調

査に向かう意欲面を高めること等が実践されたことが挙げられます。

また、平成27年度より取り組んでいる「しながわアクティブライフプロジェクト」のスポーツライアルやワンミニッツエクスサイズによる運動例の紹介と日常化の実践も挙げられまよう。

一方、課題としては、小学校・義務教育学校前期課程の50m走と、中学校・義務教育学校後期課程の持久走については、昨年度に引き続きの課題となっております。

品川区の児童・生徒の体力向上に向けて、来年度開催される、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、児童・生徒が運動やスポーツにさらに興味・関心をもつとともに、自分の健康や体力にも関心をもてるよう、各学校と連携して、授業や体力向上、健康の保持増進に向けた取組の充実等を図ってまいります。



いよいよ東京2020オリンピック。

教育長杯各種大会をご存知ですか

教育長杯争奪少年野球大会

第36回教育長杯争奪少年野球大会を、平成31年4月7日〜令和元年5月6日まで、しながわ区民公園で開催し、中学生の選手で構成された8チームが参加しました。

優勝…富士見台中学クラブ

準優勝…大井西ツインス

第三位…EMクラブ

…西大井・倉田野球クラブ



富士見台中学クラブ



教育長杯争奪少年少女サッカー大会

第17回教育長杯争奪少年少女サッカー大会を、平成31年4月7日〜令和元年12月8日まで、しながわ中央公園や八潮多目的広場を会場として開催しました。この大会の選手は5年生を主体としており、少年の部32チーム、少女の部2チームが参加しました。

優勝…FCフェニックス品川

準優勝…アンフィニ大井FC

第三位…nexus

FCU12

品川SJC

〔少女の部〕

優勝…ユナイテッド大井

準優勝…品川レッド



FC フェニックス品川-A

教育長杯小学生バレーボール新人大会

第6回教育長杯小学生バレーボール新人大会を、令和2年1月13日に総合体育館で開催し、5年生以下の選手による13チームが参加しました。

優勝…立会アタッカーズ

準優勝…NEW ASAMA

DAI

第三位…立会アタッカーズ

V・B・C(女子)



ユナイテッド大井



立会アタッカーズV・B・C(男子A)

学校内外の活動でがんばった子どもたち

品川区児童・生徒教育長表彰(スポーツ部門)

令和元年度品川区児童・生徒教育長表彰式が2月3日に行われ、「スポーツ」「文化」「善行」の3部門において活躍した児童・生徒が表彰されました。スポーツ部門では、次の種目

や分野で全国・国際大会等出場を果たした児童・生徒が、教育長より表彰状等を授与されました。

○水泳○陸上競技○体操○ダンス○ブラジリアン柔術○空手○少林寺拳法○柔道○ゴルフ○テニス○ドッジボール○サッカー○軟式野球○BMX○オリエンテーリング

表彰された皆さん、おめでとうございます。

